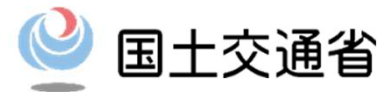


都市空間情報デジタル基盤構築支援事業 説明会

令和7年度採択都市 事例発表（2月）

徳島県美波町
総務課デジタル自治推進室





PLATEAU
by MLIT

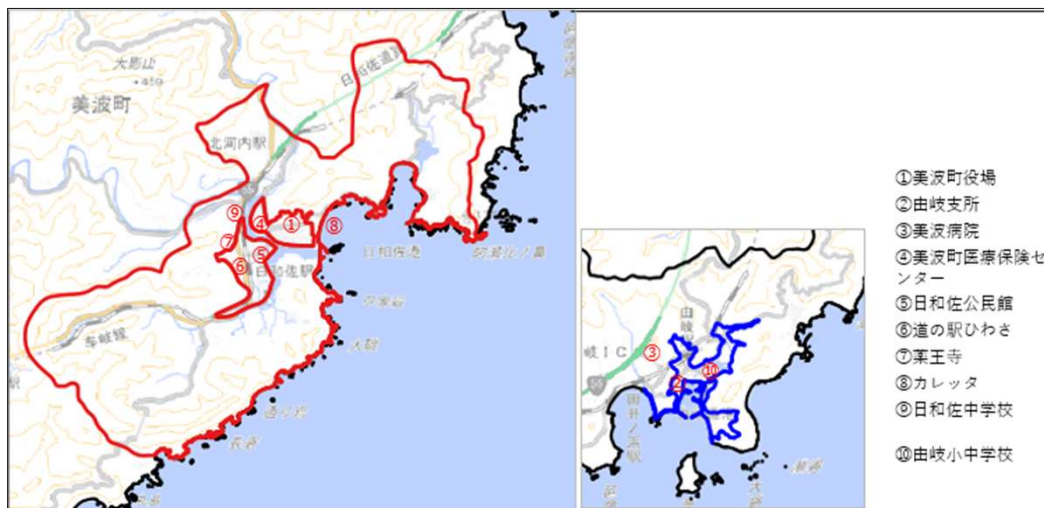
I. 3D都市モデルの整備

整備している3D都市モデルの概要

整備対象地物

地物名		整備状況	範囲
建築物	LOD1	R7新規	美波町都市計画区域、由岐地区 (15.6km ²)
	LOD2	R7新規	美波町都市計画区域 (10か所 町内公共施設)
道路	LOD1	R7新規	都市計画区域、由岐地区
都市計画決定情報	LOD1	R7新規	都市計画区域
土地利用	LOD1	R7新規	都市計画区域
災害リスク	LOD1	R7新規	都市計画区域
地形	LOD1	R7新規	全域

整備エリア図



- ①美波町役場
- ②由岐支所
- ③美波病院
- ④美波町医療保険センター
- ⑤日和佐公民館
- ⑥道の駅ひわさ
- ⑦葉王寺
- ⑧カレッタ
- ⑨日和佐中学校
- ⑩由岐小中学校

	LOD1 (建築物、交通 (道路)、都市計画決定情報、土地利用、災害リスク(洪水、土砂、津波、内水・高潮潮)、地形)	由岐地区 (0.6km ²)
		都市計画区域内 (15km ²)
	LOD2 (建築物)	都市計画区域内・由岐地区 10か所を選定

Ⅱ. 3D都市モデルの活用一覧 (UC)

今年度含む過去のUC

R7年度実施事業		事業費(配分 ベース)【千円】	実施主体
年度	ユースケース事業名		
R7	3D都市モデルを活用した災害リスクの可視 化事業	10,000	美波町



PLATEAU
by MLIT

Ⅲ. R7年度の3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

ユースケース名：

<p>目的</p>	<p>高潮時（津波時）の水位モニタリングや被災予測による効果的な対応を図る</p>
<p>活用内容</p>	<p>大学と連携し、3D都市モデルやメタバースを活用して時系列の浸水状況やインフラ被害を可視化・シミュレーションすることで、事前の復旧計画策定や、住民の防災意識向上および避難行動の変容を促進する。</p>

■ ユースケース開発成果イメージ図



洪水ハザードマップの可視化イメージ



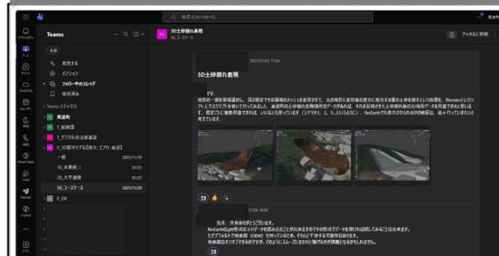
メタバースを活用した避難訓練イメージ（徳島大学開発）

現在、事業実施中。徳島大学が既にアプリを保有しているため、そこに整備中の3D都市モデルを活用予定。

UC開発を促進させるため、大学生を対象としてRe:Earthのハンズオンを実施。

KPIの項目	指標・定義	目標値
都市計画立案の効率化	作業時間が効率化したと感じる人の割合（アンケート）	60%

■ 事業実施にあたり工夫した点



UC開発を大学と連携した。その際、委託業者との3者プロダクトを同期・非同期共にTeamsで運用した。



PLATEAU
by MLIT

IV. R8年度の3D都市モデルの活用想定（ユースケース開発）

ユースケース名：

ユースケース名称	3D都市モデルを活用した観光・歴史情報等の可視化
カテゴリ	観光・地域活性化・コンテンツ
創造したい価値／解決したい課題	観光・関係人口の増加
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> Re:EarthとGoogleWorkSpaceの連携環境構築による運用の効率化 Re:Earth、ゲームプラットフォームなどを複合的に整備し、バーチャルからリアルへの導線づくりを実施する

KPIの項目人数	指標・定義	目標値
主要施設の入れ込み客数	人数	800,000人

■ ユースケース開発成果イメージ図



- Re:EarthとGoogleWorkSpaceを連携
 - トライアスロン選手の下見対応
 - 観光コンテンツ可視化
- 独自アプリ連携（PWAやゲームプラットフォームへの実装）



PLATEAU
by MLIT

VI. R8年度事業化に向けた検討・調整経過について

